

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和2年12月末現在
男 16,062人
女 15,960人
総人口 32,022人
世帯数 13,317世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

里山に育む生きものたち

No.102 ヒバリ

学名 *Alauda arvensis*

写真・文 山口 萬壽美



▼春を告げる身近な鳥
県の鳥であるヒバリは、茨城県民にとって身近な存在です。日本野鳥の会茨城県が発足して以降、昭和45年には、会員の親睦を深め、情報交換を活発にするため会誌『ひばり』が発行されました。また、県の広報紙も平成6年度から『ひばり』の名を冠しています。
このように、ヒバリは県を挙げて愛されている鳥であることがうかがえます。

▼ヒバリの特徴
全長は17cm程度とスズメよりやや大きく、後頭には冠羽があり、地上で生活することが多いため丈夫な足を持っています。体は淡黄褐色をしており、頭上や体の上面、翼、胸には黒い縦縞や斑点が見られます。小雨覆・中雨覆は赤褐色で、飛び立つ時には、尾羽根の外側の白色がよく目立ちます。地鳴きは「ピュル、ピュル」と短く、地上から飛び立つ時などによく聞かれるのですが、繁殖期には、地鳴きを複雑に組み合わせたようなさえずりを長時間続けます。さえずりながら空高く舞い上がり、数分もの間空中をただよい流れる姿はヒバリならではの特徴です。晴れた空に高く飛翔して鳴く姿から、「ヒバリ」の語源は「日晴(ひはる)」から来しているとする説が有力です。「skyark」という英語名も納得でしょう。

▼文学の世界に羽ばたく野鳥
ヒバリは、本県だけでなく熊本県の鳥でもあり、日本全国に広く繁殖しているため、古くから文学の世界にもその名を記しています。奈良時代には、大伴家持が「うらうらに照れる春日に雲雀上がり心悲しも独りし思へば(万葉集)」と詠んでおり、うらかな春の情景を象徴するようにヒバリが登場するのです。これから訪れる春の季節を代表するヒバリ。その美しいさえずりに、耳を傾けてみてはどうでしょうか。

ちびっ子アート ふじ保育園



「ティラノサウルスとトリケラトプスの戦い」
とだ はるま (6歳)



「しろくまちゃんのほっとけーき」
たちかわ りお (6歳)